



甲府工業高校卓球部通信

目標：愛媛インターハイベスト16

弥生（やよい）

【今回の言葉】 【敗者とは負けた者ではなく、負けたまま終わる者のことである】

引用文献『スポーツで結果を出す81の習慣』

（著）高橋宏文

解説	人間的にも素直で真面目、練習にも熱心に取り組む。だが、しつこさ、しぶとさが足りない。「優しい」といえば聞こえはいいが、勝負では裏目に出る。「決められない」のだ。競技スポーツでは「負けず嫌いは」プラスに働くことが多いと思う。 勝ち負けにこだわることも大事です。
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

積雪	2月10日（木） 久し振りに本降りになり、午後は休校になりました。
----	--------------------------------------



現在の状況	キャプテン 河澄圭哉
-------	------------

私たち卓球部は“愛媛インターハイベスト16”を目標に、富山インターハイが終わってから真剣に取り組んで来た。しかし、コロナウイルスの影響で現在、部活動が出来ない状況になってしまっている。

3年生が引退して、私たちの代となった直後はあまり自覚がなく普段通りの練習を繰り返し行っていた。しかし、新人戦や関東選抜、千葉の合宿などを通して私たちは、“このままではインターハイにすら行けない”と感じ、何かを変えなければならないという気持ちから部員全体の意識が上がり、チームとして成立しはじめたと思っていた。そんな状況でのコロナウイルスの再拡大。部活動が出来ない上に、学校に行く回数が減り部員同士と顔を合わせることでさほとんど無くなってしまった。チームがとても良い方向に向かっていただけに不安な気持ちが出てきた。しかし、活動ができない時でも部員全員が各自でトレーニングや練習、ランニングをして、山梨県総体やインターハイに向けて準備をしている。そんな話を部員のみんなから聞き、自分の中で少し不安が和らいだ。自分がやるべきことは、練習が出来ない環境の中でしっかりと今自分のできることをする。そして部活動が再開したときにコロナウイルスの影響がなかったように身体・意識を作っていくことだ。そして、まだ続くと思われる自粛期間中にどのようにすればチームが良くなるか、もっとチームとして強くなるにはどのようにすれば良いのかを考え、練習が始まった時には良い意味で自粛期間前とは別のチームになっているようにしていきたいと考えている。4月からは新1年生が入学してくるため、少しチームの雰囲気が変わるかもしれないが、私たち新3年生が引っ張っていく形で甲府工業高校卓球部というチームを作っていくたい。

私たちは高校最後の年で、夏のインターハイで負ければそこで終了する。残るチャンスは1度だけ。その1度のチャンスをものにして、高校生最後の年“愛媛インターハイベスト16”入りして、笑顔で終わりたいと思う。

私たちの目標はインターハイ山梨県予選で優勝する！

そして愛媛インターハイベスト16に入る！



編集後記	部活動自粛が27日（日）まで延長になり、3年生送別会も延期になりました。いつ開催するか悩んでいます・・・卒業式も保護者の出席が認められず、抗原検査済みの生徒・職員のみ参加という異例の式になりそうです。コロナの収束が見えない状況ですが、出来ることを行い力を溜めていて下さい。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------